

NTTデータ「AI発明発掘支援サービス」：信頼とSI力で挑む知財DXの革新

NTTデータは2026年10月より、AIを活用して発明相談から提案書作成までを支援するサービスを開始します。
特許庁システムの運用実績を背景とした「信頼性」を武器に、単なるツール提供に留まらない伴走型の知財業務変革 (IP-DX) を目指しています。

サービスの特長と解決する課題



発明発掘の「上流工程」をAIが強力に支援
多様な情報を基に発明の不足点や確認すべき観点を提示し、提案書作成の負荷を軽減。

埋もれた発明の顕在化と知財部門の戦略化
R&D部門の言語化コストを下げ、知財部門をヒアリング業務から戦略立案へシフト。



SIer型伴走モデルによる柔軟な導入
SaaS提供だけでなく、既存システム連携やAI基盤構築まで、各社の課題に応じたカスタマイズが可能。

競争優位性と導入に向けた実務論点



特許庁基幹システムの構築実績に基づく「圧倒的信頼」
公共系顧客基盤と、長年の行政システム運用で培った高度なワークフロー知見が差別化の核。

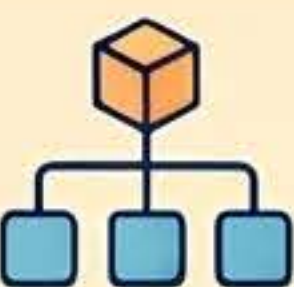


「発明者は自然人」とする法的要件への対応
AI支援発明でも、人間が「特徴的部分」に関与した記録を残す社内規程の整備が急務。



導入検討時の4つの確認チェックリスト
①基盤モデルとデータ所在、
②秘密保持設計、
③定量的な実証効果、
④価格体系。

国内主要競合サービスとの立ち位置の違い

比較項目	NTTデータ (本サービス)	NEC (知財DX)
 主な訴求点	 行政システム実績、 信頼性、SI力	 圧倒的効率化 (94%削減)、 定量数値
 ビジネス モデル	 SIer型伴走モデル、 基盤構築	 SaaS型、 月額100万円～
 主な機能	 発明発掘、 提案書作成支援	 先行技術調査、 特許権判定、 明細書自動化